

大学名 京都教育大学

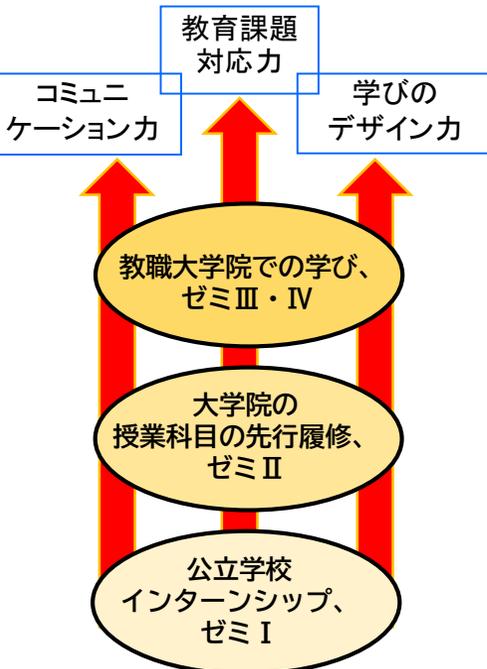
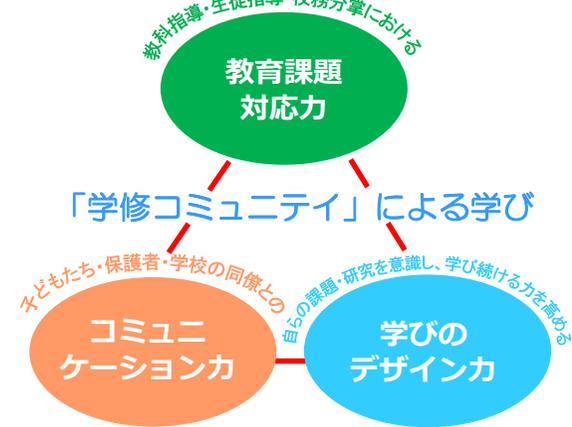


第74号 特集タイトル
「未来社会に向けた教員養成」

表題 6年制教員養成高度化コース ～実践的指導力の向上を目指して～

◆特色ある取組

- ▶ 学部4年と大学院2年を組み合わせた6年間一貫の教育を行うコースを設けており、学部3回生の段階から、大学院連合教職実践研究科教科研究開発高度化系への進学を見通して組織的・体系的に学ぶことによって、教師としての実践的指導力のさらなる向上を目指している。
- ▶ 学年や専攻の枠をこえた「学修コミュニティ」による学びにより、①学生・院生の多角的・多面的（教科・領域横断的）な視野の育成、②教職への深い理解やモチベーションの形成及びモラルの醸成、③コミュニケーション力を高め、協働性や相互批評性を含む同僚性（collegiality）などの教師としての基盤となる資質の形成を図っている。
- ▶ 学生は、学部2回生時にコース登録の申請を行い、選考を経て、学部3回生からコースに所属する。これまで修了した全員が教師の道に進んでいる。



◆学修のプロセス

大学院1・2年次

- プロジェクトのテーマ設定
- 教科・領域横断型教材や教授法の研究と開発、ゼミⅢ・Ⅳへの参加、ICTを駆使した発信、学習・研究計画の作成と実行、成果発表 等

学部3・4回生

- 自ら問いをたて、協働しつつ、常にリフレクションしながら学んでいく。
- 大学院の授業を先行履修することで、学修意欲をさらに高める。
- 合宿研修、教育実習(3・4回生)でのビデオ分析、ゼミⅠ・Ⅱへの参加、ICTの活用、研究法入門・アクションリサーチ、公立学校インターンシップ振り返り 等

◆学年や専攻の枠をこえたコース所属学生たちの声

◎自らの問いを追求するアクションリサーチ！

- ▶ 「研究活動の第一歩としてのアクションリサーチ、映像を用いた授業実践の分析など、コースの活動を行っていく中で、「学び続ける教師」としての基礎が身についていく。また、ICT教材の開発など、教育実習や学校現場で役立つ実践的な学びを深めることができる」
- ▶ 「学部4回生時に大学院の授業を先行履修できることから、進んだ視点を持って学部の授業や卒論に臨むことができる」

◎授業力を鍛えるビデオ分析（教育実習研究授業）ワークショップ！

- ▶ 「ビデオ分析ワークショップによって、教科や専攻を超えた相互評価ができる」
- ▶ 「教育実習の分析ができるので、大学院での教職専門実習や教員採用試験の模擬授業等に向けて授業の改善ができる」

◎学校現場に繋がる実践的な学び！

- ▶ 「自分たちで合宿研修の企画・運営(会場の手配や活動計画の立案・会計)を行うなど、学校現場で活かせる力を高められる」